

平成19年度 事業評価書

地 域 名	神奈川県川崎市	選定年度	H17年度	事業規模	大規模事業
まちづくり協議会名	かわさき都心部循環型まちづくり協議会				
モデル事業名	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H17年度	普及啓発事業として、かわさき地球環境フォーラムを開催。また、地下街集合店舗の環境配慮調査を実施。
		H18年度	普及啓発事業として、かわさき地球環境フォーラムを開催。また、エコライフチャレンジボードなどの環境教育教材やリーフレット等を作成。
	事業完了後	H19年度	事業完了後のため、事業は実施していない。なお、普及啓発事業として、かわさき地球環境フォーラムを引続き実施。
交付金事業	事業期間	H17年度	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業(高効率空調システム導入工事)として、川崎地下街アゼリアに「水和物スラリ蓄熱空調システム」を導入(第1期)
		H18年度	かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業(高効率空調システム導入工事)として、川崎地下街アゼリアに「水和物スラリ蓄熱空調システム」を導入(第2期)
	事業完了後	H19年度	事業完了後のため、事業は実施していない。なお、かわさき都心部循環型まちづくりモデル事業(高効率空調システム導入工事)における川崎地下街アゼリアへの「水和物スラリ蓄熱空調システム」の据付等を実施。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	川崎市における循環型、脱温暖化のまちづくりに向けての先導的モデルとして、JR川崎駅前地下街の省エネを推進し、地球温暖化対策の促進を図る事業。 ソフト事業において、地下街での省エネの取組を普及啓発に活用するなど、ソフト事業とハード事業の連携強化に一層努められたい。		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果		備 考
	目標値	-	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実績値	-	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)		
	ハード事業については、3カ年で高効率空調システムによる省エネルギーシステムを導入し、平成20年度以降検証する予定。 ソフト事業については、イベント参加後のアンケート調査により家庭部門の削減効果の把握を行うなど、工夫が見られる。		
③経済活性化効果	ハード事業については、3カ年で高効率空調システムによる省エネルギーシステムを導入し、平成20年度以降検証する予定。 ソフト事業については、イベント参加後のアンケート調査により家計における一定の効果が推計されているが、導入した商店街で積極的に取り組むように努められたい。		
④その他			